



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安全運転管理協会の活動紹介！

「交通安全を誓う大会」の開催

下田地区

日時	令和6年10月2日（水） 10:00 ～
場所	賀茂郡松崎町外部 交通安全誓いの塔前広場
概要	<p>当協会と安協下田地区支部は、秋の全国交通安全運動の一環として、上記日時場所において、みだしの大会を開催しました。</p> <p>この大会は、松崎、西伊豆町のいわゆる西豆地区の交通事故の犠牲者の冥福を祈るとともに、交通安全意識を高揚し、さらなる安全運転を誓うため毎年開催しているもので、下田警察署長、松崎町長、西伊豆町長等関係者や交通関係団体役員等30名が参加して、交通事故犠牲者への献花や交通安全宣言を行いました。</p>



ユニプレス精密(株)で自転車指導とヘルメット贈呈式を開催

富士地区

日時	令和6年9月27日（金） 14:00 ～ 16:00
場所	ユニプレス精密（株）食堂及び駐車場
概要	<p>富士地区安全運転管理協会は、富士署、富士市、交通安全協会富士地区支部と当協会の会員事業所であるユニプレス精密(株)で交通安全教室と自転車ヘルメット贈呈式を開催しました。</p> <p>自転車通勤の従業員を対象に自転車ヘルメット20個を贈呈したほか、自転車指導（座学・実技指導）を行いました。</p>



夕暮れ時間帯に交通事故防止の街頭広報を実施

清水地区

日時	令和6年10月2日（水） 16:30 ～ 17:00
場所	静岡市清水区横砂地先
概要	<p>清水地区安全運転管理協会は、交通安全協会清水地区支部などと共に、夕暮れ時間帯の交通事故防止に向けた街頭広報を実施しました。</p> <p>同街頭広報は、初日（10/2）の袖師地区から11月末日までに、清水区内の21地区で実施する予定です。</p> <p>当協会からは、苅和会長（株）柿澤学園スルガ自動車学校が参加し、通行人に反射材付きライトを配布しながら、反射材の着用や早めのライト点灯を呼び掛けました。</p>



「自転車ヘルメット着用推進インフルエンサー」に高校生を任命

藤枝地区

日時	令和6年10月7日（月） 16:45 ～ 17:00
場所	藤枝明誠高等学校（藤枝市大洲2丁目2-1）
概要	<p>藤枝地区安全運転管理協会と藤枝警察署は、高校生の交通事故防止・自転車用ヘルメットの着用推進を目的とした「インフルエンサー」を募集したところ、藤枝明誠高校の1年生10人が手を挙げてくれたことから、同人らを「自転車ヘルメット着用推進インフルエンサー」に任命したほかヘルメットを寄贈しました。</p> <p>インフルエンサーの任命を受けた生徒代表の鏑山（イヤマ）さんは、「普段の交通安全への意識を見直し、手本となるような行動を取る」と誓いを述べました。</p> <p>坂田署長からは、「高校生の自転車乗車中の死亡事故も発生しており、交通事故から命を守る重要性を伝え、着用の輪を校内に広げてほしい」と挨拶がありました。</p> <p>任命式には、藁科会長、坂田署長のほか矢部藤枝市役所市民協働部長、学校教諭らも参加しました。</p>



交通安全広報CMと交通安全啓発品の作成

概要 **浜松中央地区安全運転管理協会**では、浜松中央警察署と浜松市中央区まちづくり推進課の協力を得て「交通安全CM」を作成しました。

また、交通安全の啓発用シールも作成し、イベントなどで配布することとしています。

CMの内容は、「自転車乗車中のヘルメット着用努力義務化」編（15秒）です。



「Hondaまつり2024」会場における交通安全広報啓発活動の実施

日時 令和6年9月29日（日） 10:00 ～ 16:00

場所 浜松市中央区葵東一丁目13番1号
本田技研工業(株)トランスミッション製造部内、特設会場

概要 **浜松中央地区安全運転管理協会**、浜松中央署、交通安全協会、浜松市及びレインボー浜名湖は、**本田技研工業(株)交通安全担当者10人**と本田技研工業(株)が主催する「Hondaまつり2024」の会場の特設会場において、交通安全コーナーを設け「交通安全体験車」「パトカー・白バイ乗車体験」「サポカー体験コーナー」等を設置し、体験型の交通安全啓発活動を実施し、多くの来場者の交通安全意識の向上を図りました。



「秋の全国交通安全運動」 期間中の事業所訪問

島
田
地
区

日時 令和6年9月25日（水） 9:00 ～ 12:00

場所 浜建工業(株)、(有)明工電気、川根本町役場
(株)シーテック静岡支社大井川支店

概要 **当協会では、毎年度安全運転管理活動の模範となるよう17事業所をモデル事業所として定め、交通事故等の防止に努めており、このモデル事業所を対象に、当協会役員と警察署職員が直近の交通事故状況や安全運転に係る情報を交換することを目的に事業所訪問を行っています。（年4回の安全運動期間中に実施）**
今回は、上記4事業所に対して実施し、島田警察署員からは管内事故件数、負傷者数は減少しているが、死者数が増えていることについて説明し、追突事故、出会い頭事故が多いことについて注意を促しました。
事業所からは、キックスケーターの危険性の指摘や、高齢者の横断歩道を使用しないところでの事故、始業朝礼での注意喚起等の話があり、11月1日からの「ながら運転」の自転車への適用についても話し合われました。

